

2018 富山県教育カウンセラー協会 講座

学校がする ソーシャルスキル・トレーニング ～気になる子どもへの支援のワザを磨く～

かかわり合いを深めるための、よりよい人間関係づくりのコツを一緒に学びましょう！
構成的グループ・エンカウンターとも組み合わせて活用するとよいでしょう。



名城大学 曾山和彦

2018.6.17

まずは ウォーミングアップ

□ 出会いの定番；ネームゲーム

せっかくの「出会い」(エンカウンター)。
前後左右にお座りの方同士、3～4人で一緒に学びましょう！

学校では、新入生の学級開き等に活用！



2

人が人になるには人が必要

□ 現代の子どもたちは「**人とのかかわり体験不足**」

・それ故、「**自尊感情&ソーシャルスキル**」が不足する
・この二つの不足が「**不登校・いじめ・発達障害**」等、「**気になる子**」の問題に直結する

学校・学級だけは、日常的に「**集団がある**」という点において昔と変わらない。私たち教師は集団を扱うプロ。子どもたちにかかわりの機会を様々な用意することができる。
「**人を人にする最後の砦**」が私たち教師！

「教育の目的は子どもを『**社会化**』すること」(園分)



3

関係づくりの第一歩は相手への関心

□ 愛の反対は？ →

「**どうでもいい**」、「**知らねえ**」と言わない子どもに育てたい！
そのために「**関係づくりの第一歩は…**」と繰り返し言い続ける



4

繰り返し言い続ける

□ 穴の空いたコップ理論

「夜中に爪を切りますか？」
「夜中に口笛を吹きますか？」
今、誰が、それらがよくないということを教えるのでしょうか？
「**オニの心**」を鎮めるのも、鎮め方を教えるのも大人の役目です



「コップの穴」が塞がるまで諦めずに

5

次の言葉を信じ&次の言葉に留意し、「言い続ける」

□ 子どもは、大人から愛されれば愛されるほど非行から遠ざかる(水谷)

□ 正しいことを言うときには少し控えめに言うといい(吉野)

私の「引き出し」に入っています



6

「2本のアンテナ」で ソーシャルスキル育成

「挨拶」スキルの育成は？
ルール促進も同じ

対決 メッセージ;
対決 メッセージ;
「 」;

肯定 メッセージ;
肯定 メッセージ;
;

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要！

年齢・発達段階への配慮とは

伝えるように言葉を
かけましょう!

「注意・指示&褒め言葉」が効く・効かない境は？
→ 10歳or思春期

「子どもは褒めて育てる」…大ウソ!?
→ 「境」と「落とし穴」

「大揺れの船(思春期)」から、子どもが海に投げ出された時、
泳いで行く・浮き輪を投げる等、助けられる大人に!

知識・理論・技法 ← 例:
親業 アドラー心理学

最強 & 最高 & 最幸の言葉は

楽しく&負担感の少ない かかわり体験を「ちょこちょこ」入れる

関係づくりの花火打ち上げ&火のリレー

かかわりに安心感がなければ、誰が
友だちとかかわるだろうか...
かかわりの糸が結ばれなければ
国が目指す授業改善は進まない
糸を結ぶ具体方策は？
私の提言は「短時間GAの導入 & 授業に
おけるペア・グループ活動の導入」

これならば、学校全体で、しかも長く続けられる!

かかわりの力育成プログラム

~ 平成29年度~31年度科研究費採択研究 ~

子どもたちの自尊感情&ソーシャルスキル育成を
ねらい、1週間に一度10分程度でできる「SST &
SGE」を活用するグループアプローチと各教科等
の中でのペア・グループ活動を組み合わせたもの

愛知県刈谷市立依佐美中が
「かかわりの力育成プログラム」の先進校
「よさっぴタイム」と「よさっぴトーク」
* 拙著「王道II」にすべてを掲載

今、最高に「旬」なのは桜ヶ丘中「桜咲タイム」!

進化を続ける! 鳥取市立桜ヶ丘中学校の実践研究

~短時間グループアプローチの習得と活用~学びのアクティブラーニング化~

- 平成28年度、短時間グループアプローチ(GA)導入。「桜咲タイム」
- 平成28年度3学期、4小学校6年生に対し、「桜咲タイム」出前授業
- 平成29年度、4小学校もGA「桜咲タイム」導入
- 平成29年度1学期、中1不登校ゼロ実現
- 平成29年度、「アクティブラーニングの伝道師」:小林昭文先生提唱のアクティブラーニング授業を導入

「縦系(教師-子ども)と横系(子ども同士)」により、学級という「機」が織り上げられ、学習指導、生徒指導、特別支援教育は機能する(曾山)
今後の授業改善に、「教育相談のスキルと考え方」は益々求められる(小林)

11/20(火)、「授業提示」と「曾山 & 小林コラボ講演」が実現(予定)!

桜咲タイム 年間計画

平成29年度、ほぼ毎週のように実践!

実施日	内 容		
	1 年	2 年	3 年
第1回	4月12日	パースティチューン	パースティチューン
第2回	4月25日	ネームゲーム	パースティチューン
第3回	4月26日	アドジャン	アドジャン
第4回	4月28日	二書択一	二書択一
第5回	5月10日	アドジャン	アドジャン
第6回	5月17日	アドジャン	アドジャン
第7回	5月24日	アドジャン	アドジャン
第8回	6月14日	アドジャン	アドジャン
第9回	6月21日	二書択一	二書択一
第10回	7月5日	二書択一	二書択一
第11回	7月19日	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡
第12回	8月30日	アドジャン	二書択一
第13回	9月13日	二書択一	アドジャン
第14回	9月19日	アドジャン	アドジャン
第15回	9月20日	アドジャン	アドジャン
第16回	9月27日	二書択一	二書択一
第17回	10月11日	全校オリエンテーション	
第18回	10月18日	アドジャン	アドジャン
第19回	11月5日	アドジャン	アドジャン
第20回	11月15日	アドジャン	アドジャン
第21回	11月22日	アドジャン	アドジャン
第22回	11月29日	アドジャン	アドジャン
第23回	12月13日	アドジャン	アドジャン
第24回	12月20日	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡
第25回	1月10日	アドジャン	アドジャン
第26回	1月17日	アドジャン	二書択一
第27回	1月24日	アドジャン	アドジャン
第28回	2月7日	アドジャン	アドジャン
第29回	2月21日	アドジャン	いいとこ四面鏡
第30回	3月14日	いいとこ四面鏡	いいとこ四面鏡

打ち上げ花火その1; 「二者択一」

1. 都会	田舎
2. 社長	副社長
3. 国内旅行	海外旅行

13

ソーシャルスキル・トレーニング(SST; social skills training) ~教えることがなじむ技法~

□ SSTは行動の教育
 してみせて、言って聞かせて、させてみて
 ほめてやらねば 人は動かじ

<基本展開>

1. インストラクション(言語指示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

演習;二者択一

ねらい;挨拶、話の仕方(〇〇です)、
話の聴き方(顔き、視線、表情等)

14

構成的グループ・エンカウンター(SGE; structured group encounter) ~教えることがなじまない技法~

SGEは感情の教育
 ・「〇〇に気づいた、〇〇を感じた」等、個々の気づきをうながす。

演習;二者択一

ねらい;自他理解

15

ソーシャルスキル・トレーニング(SST)と構成的グループ・エンカウンター(SGE)

□ SSTは「行動」の教育。教えるがなじむ
 →行動理論ベース

□ SGEは「感情」の教育。教えるがなじまない
 →実存主義、ゲシュタルト理論ベース

どちらも「かかわりの力」育成をねらえる集団カウンセリングの理論・技法。SSTは「ソーシャルスキル育成」、SGEは「自尊感情育成」に焦点があたる。



16

何故、今、SGEなのか

- 子どもたちの自尊感情の低さが気になる
- 「自分にOK」と言うためには自己理解が必要
- 自己理解は他者とのかかわりにおいて促進
- 自己理解に合わせて他者理解も促進(自分に当てる物差しを相手にも当てる。自分を見る窓枠で相手を見る、等)

人は自分のことがわかる程度にしか相手のことはわからない。SGEは自己理解を促すアプローチ!



17

ジョハリの窓

		フィードバック →	
	自分が知っている自分	自分が知らない自分	
自己開示 ↓	他者が知っている自分	オープン領域	盲点領域
	他者が知らない自分	秘密領域	無意識領域

何故、今、SSTなのか

□ ソーシャルスキル(人付き合いのコツ・技術)が身についていなければ、よりよいかかわり合いは難しい

<石川ら(2007)の研究>
小4~中1までの子ども対象。ソーシャルスキルは高学年が低く、不適応感も悪化。ソーシャルスキルは自然の時間経過によって獲得されない。先生や友だちとの関係づくりスキルを学ぶことで学校不適応が改善

今や、ソーシャルスキルは自然には身につかない!



行動理論とは ~SSTのベース理論~

学んでいない(未学習)なら学ばばいい
間違って学んだ(誤学習)なら学び直せばいい

行動理論

人は性善説でも性悪説でもない
「白紙」(タブラ・ラサ)
お望みとおりの人間に育ててみせる(ワトソン)

ソーシャルスキルとは よりよい人付き合いの「型」

まずは「型」から



□ 「型の中に見出す違いが個性になる」(松平)

技術・コツ・テクニックを身につけるには、「型」を習得することから始まる。私の卓球も合気道もスピーチも全ては「型の教育」。ソーシャルスキルとは「人とかかわる技術・コツ」のこと。例えば、挨拶やうなずきというスキルもまずは「型」を教える。ある程度、「型」が身に付く中で、「元気な挨拶」「しっとりとした挨拶」などの違いが、その子らしい「個性」として見えてくる。

「型」だけで、気持ちが伴わないスキルに意味はあるのか!?

□ 「行動が感情をつくる」(W.ジェームズ)

ジェームズは、「悲しい(感情)から泣く(行動)のではない。泣く(行動)から悲しい(感情)のだ」と述べた。口になじむほど「ありがとう」と言っていると、感謝の気持ちがやがて湧く

日に用いて知らず



幸せだから笑うのではない。笑うから幸せなのだ(アラン「幸福論」)

ソーシャルスキルを 「教える」・「考えさせる」分岐点

□ 10歳前後を境に、道徳性(大人に委任→自分で判断)、友人・母親関係(母への同調→友人への同調)が質的に変化する(川島)。

10歳までは教える
10歳からは考えさせる

思春期までは「教える」がなじむ!

スライド8を確認



打ち上げ花火その2; 「ジャンケン手の甲タッチ」

子どもにとっては遊び。でも、私は遊んでいない



遊びは、「引き算」ではなく「足し算」をする

一人で楽しめる携帯ゲームは「人とかかわる技術・コツ」が身に付きにくい。「携帯ゲームの禁止・取り上げ(引き算)」は難しい。「かかわりを楽しめる遊びを教える(足し算)」ことも、大人の役目では?

打ち上げ花火その3; 「アドジャン」

ベストワン!

- ・大学生の一番人気エクササイズ
- ・「自己開示」レベルを様々なアレンジ可

25

子どもは遊ぶが如し 私たち教師は..

- ねらいをもって子どもの前に立つ
- 適切な行動に対して価値付け

発達段階に応じ、価値付けの言葉かけ

- ・褒めは？
- ・勇気づけは？
- ・認めは？

26

にこにこタイム & にこにこトーク 実践2年経過 春日井市立西山小の実践効果 ~教師による児童に対するアンケート結果から~

活動内容	平均得点
楽しんでいる	3.8
真面目に取り組んでいる	3.7
相手の話をよく聞いている	3.2
聞いて理解している	3.1
自分の話を聞かせる	2.9
自分の意見に自信を持って発言している	3.6
相手の意見に反対意見を述べることができる	3.4
意見を述べた後、相手の意見を尊重している	3.2

週1回、15分の「にこにこタイム」に関する児童の様子を教員19名が評価 (満点は4点)。非常に高い肯定的評価となっている。

27

にこにこタイム & にこにこトーク 実践2年経過 春日井市立西山小の実践効果 2 ~教師の自由記述から~

- 今年1年生でやってみて小さいうちから行うことの良さがわかった。低学年から行うことで、子どもたちは「顔く」相手の目を見る」という行動を意識していた。その反面、遊びの感覚が強すぎる子もいるので教師がしっかり指導していくことが大切だと思った。(1年担任)
- 春日井市全体で取り組むといい。(2年担任)
- 「塵も積もれば山となる」とはまさにこのこと。にこにこタイムの効果は大きい。(3年担任)
- にこにこタイムを楽しみにしている子が多くなったように思う。(4年担任)
- 毎週木曜の15分という短い時間だからこそ継続できた。(5年担任)
- 授業中、話し合いが自然にできるのはにこにこタイムのおかげ。(6年担任)
- 全校体制で取り組んでいるのがとても良い。活動の中だるみという意見があるが、教師が活動の意図を明確にしていればそんなことはない。(担任外)
- にこにこタイムは漢方薬。2年間でじわじわと効果が出てきた。子どもの変容と共に、教員の変容(話の聴き方、表情、挨拶等)も大きい。(管理職)

誰にとっても「思考の一枚岩」は難しいが、「行動の一枚岩」にはなる。管理職・推進担当のリーダーシップにより、「岩」が堅くなりつつある。

28

よしよしタイム 実践6ヶ月経過 西尾市立吉田小の実践効果 ~1~3年児童のアンケート結果から~

活動内容	平均得点
楽しい	4.6
あいさつができる	4.6
聞いて話が聴ける	3.8

子どもたちが、これほど「楽しい」と感じているならば、実践価値あり

週1回、15分の「よしよしタイム」に関する1~3年児童160名が自己評価 (満点は5点)。非常に高い肯定的評価となっている。

29

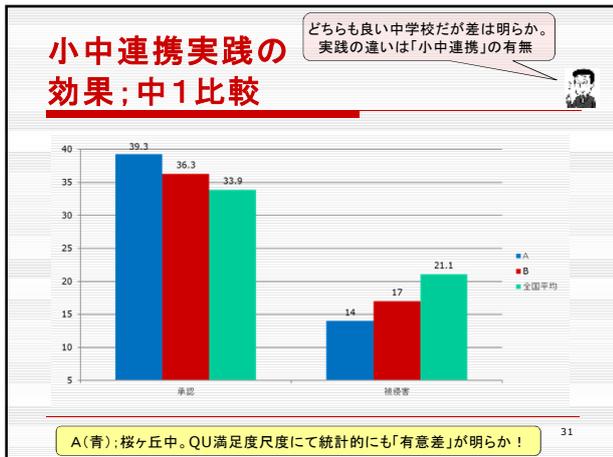
よしよしタイム 実践6ヶ月経過 西尾市立吉田小の実践効果 ~4~6年児童のアンケート結果から~

活動内容	平均得点
楽しい	4.5
あいさつができる	4.3
聞いて話が聴ける	3.8
相手の話をよく聞いている	3.9
自分の話を聞かせる	4.4
友達のことかかわった	3.5
友達のことかかわった	4.0
相手の意見がよくなった	4.2

子どもたちが、楽しみつづき自己理解が促されるならば、実践価値あり

週1回、15分の「よしよしタイム」に関する4~6年児童180名が自己評価 (満点は5点)。非常に高い肯定的評価となっている。

30



打ち上げ花火最終形； 「1分間スピーチ」

大学での実践から

- ・1分間スピーチ
- ・お題は「1週間のエピソード」
- ・聴き方のルールは「表情、頷きを大切に聴く」のみ
- ・全員終了後、「井戸端会議」(フリートーク)

1ヶ月固定のグループを作り、第1週は「アドジャン」等のエクササイズで関係づくりの一步を踏むようにする。
第2週～4週は、「1分間スピーチ」実施。毎回10分間の活動。学生たちから大好評&効果も抜群！

「安心・安全の枠」を明確にすることで、全ての学生が取り組んでいます。

打ち上げ花火まとめ； 「いいとこ四面鏡」

これもグッド！

- ・安心の枠でできる
- ・友達評価。小高学年以上にお薦め
- ・転用が様々に可能

33

最強・最高の ソーシャルスキル・トレーニング

□モデリング；大人という「教材」

・あいさつ(おはよう、さようなら)、あたたかい言葉のかけ方(ありがとう、よろしく)、話の聴き方(笑顔、うなずき)、頼み方・断り方等をどれくらい見せているか

生徒に要求することはすべて大人がしてみせる！

34

まとめ

- I think の前には**理論が必要**(國分康孝)
- 一つだけでは**多すぎる**(外山滋比古)
- 今見ている**景色も楽しむ**

また、お会いしましょう！

35

ご縁をご活用ください！

~Mail; kazu3623@hotmail.com~

- 実践上の悩みがあればメールを！
- HP;「KAZU・和・POCKET」に情報満載！
- Blog;「Today's pocket」は毎日更新！

また、お会いしましょう！

36

拙著紹介

「オニの心」シリーズ (明治図書)




私の初単著！ 思い出の著作です！

「オニの心」は私のお気に入りのタイトル

37

拙著紹介

「気になる子」シリーズ (教育開発研究所)






全国各地の「仲間」と創り上げた本です！

優しい色合いの表紙も私のお気に入り

38

拙著紹介

「王道」シリーズ (文溪堂)




私の実践・研究の現在地をまとめました！

「王道＝正攻法の基本型」の教育を目指して

39

拙著紹介

親から子へ かかわりの糸を結ぶ21の言葉 (文溪堂)



今、私が一番創りたかった本・・・
「先生方の応援者」であることに加え、「保護者の応援者」にもなりたくて書き上げた本です！

このタイトルで多くのPTA講演もお受けしています！

私の応援メッセージが届きますように

40